

令和元年度 第1回 学校運営協議会 議事録（要旨）

- 1 日 時 令和元年7月17日（木） 16:00～17:00
- 2 場 所 校長室
- 3 出席者 栗野会長、木原副会長、乾委員、宇田委員、豊田委員、村田委員
檜崎校長、芥川教頭、石原事務長、黒田首席
その他教員 6名

4 次 第

- (1) 開会
- (2) 会長挨拶
- (3) 平成31年度（令和元年度）学校経営計画および学校評価について
- (4) 令和2年度使用教科用図書を選定について
- (5) 閉会

5 協議・意見交換

<平成31年度（令和元年度）「学校経営計画および学校評価」について>

校長より主旨説明：今年度は組織を改編しスリム化を図り、コンパクトにまとめた。目指す学校像を具現化するために中期的目標を3つ設定した。

すべての教育活動でキャリア教育につなげる視点を持つこと（例えば生涯スポーツにつながる部活動など）センター的機能として、高等学校への相談支援や共生推進教室設置校の見学受け入れ、地域の拠点校として活動を進めている。

[質問]

（将来構想委員会）

委員：将来構想委員会（仮称）とはどのようなものか？

校長：名称は企画委員会となり、施設設備や教育課程、校務分掌組織など中長期的な視点から計画し、職員会議などに提案する組織として今年度立ち上げた。すでに諸課題について検討し、校内の安全対策の一環として、アレルギー検討委員会の新設し、対応についてシステム化を実現した。

委員：PTAは参加可能か？

校長：校内運営に関することであり、参加はしていない。別途、PTA役員会、実行委員会などでお知らせしている。

（定着支援）

委員：定着支援の期間が4～6月とあるが、その期間だけなのか？

校長：就職直後は仕事面、生活面で不安定になることが多いため、重点的に訪問しているという意味であって、概ね3年程度は学校として関わる予定である。追指導専任教員を指名し、卒業学年の担任と連携をとりながら、進路先を訪問している。

委員：2期生の進路先は？

校長：今回の資料に載せることができなかったが、正規雇用が14名（1期生は6名）だった。

委員：定着支援の対象は企業就職者のみか？

校長：卒業生全員が支援の対象となる。

(教員の専門性の向上)

委員：教員の専門性の向上とあるが、経験年数の少ない教員へ社会人としての教育はどのように行っているか。

校長：新規採用教員は初任者研修の制度があり、年間300時間以上校内外での研修を実施している。校長だよりでも、常々教員としてのあり方を周知している。本校は職場実習の回数が多く、教員が企業を訪問する機会も多い。進路部を中心に企業訪問マニュアルを作成し、服装やあいさつ、名刺交換など事前面接前に研修を行っている。メンター制度も導入し、先輩教員と面談する機会を数多く持てるようにしている。

<平成31年度教科用図書選定について>

校長：別紙一覧のとおり、令和2年度に使用する教科用図書の選定を各教科で進め、3回の教科書選定委員会を経て、選定が終わった。

生徒の特性や実態に応じたものになるように、3年間使用するもの学年ごとに使用するものなどの工夫をしている。新規に選定するものは実物を委員会で確認し、ていねいに選定を行った。

校長：閉会の挨拶